

大野小 内海小 三中 3校

家庭学習の手引き

小学校版

平成 27 年 4 月

家庭学習の手引き

家庭学習

小学校の学習は、将来子ども達が社会人として自立するための基礎となる大切な学習です。その学習した内容をしっかりと定着させるためには、学校での学習と連携した家庭学習が大変重要となります。また、義務教育9年間で学習したことを確かに定着させていくためには、小学校段階から自ら学ぶ姿勢を重視し、毎日しっかりと家庭学習に取り組ませることが大切です。

家庭学習の取り組み方

1【基本的な生活習慣の確立】

早寝・早起き・朝ごはん・朝の排便など規則正しい生活が大切です。

2【家庭学習の習慣化】

毎日続けることが大切です。習い事や家庭の都合で予定どおりできないときもありますが、できるだけ時間を決めて取り組むことが習慣化につながります。

3【家庭学習を行う環境】

落ち着いた環境で、集中して取り組むことが大切です。テレビを見ながら、音楽を聞きながらでは、集中した効果的な学習とはいえません。

4【家庭学習時間のめやす】

各学年の発達段階を考えると、以下の時間をひとつの目安として、考えます。

○15分程度×学年（例：3年生ならば15分程度×3年＝30分～45分）

継続は力なり

「継続は力なり」ということばがあります。小さなことでもこつこつと積み重ねることで、大きな力につながります。一つの目標が達成できたら、ほめてあげたり、家族で喜んだりすることが大きな励みになります。続けようというやる気につながっていきます。

各学年の取り組み

◎ 1年生

毎日の宿題を確実にやりきることによって、家庭学習の習慣づけをする時期です。ご家庭での声かけにより継続して取り組めるようになる大切な時期です。少しの成果でもしっかりほめることが大切です。

◎ 2年生

毎日の宿題を確実にやりきることによって、家庭学習の習慣をよりたしかなものにする時期です。この時期も、家庭からの声かけによって意欲を持って取り組めるようになります。ほめることや励ましの声かけが大切です。

◎ 3年生

毎日の学習に確実に取り組むことによって、学習内容の定着を確かなものにしていきます。また、自分が間違えたところや分からなかったところをノートにもう一度やってみるという学習（自主学習の初歩）に取り組み始めるのによい時期です。 まだまだ声かけも必要です。

◎ 4年生

毎日の宿題に確実に取り組むことによって、学習内容の定着を確かなものにしていきます。プリントやテストで間違えたところをノートにやり直したり、簡単な復習プリントをしたり、宿題以外の学習にも取り組み始める時期です。 声かけだけでなく、点検や確認をお願いします。

◎ 5年生

毎日の宿題とその日の学習内容をもう一度家庭学習用のノートにまとめるなどの復習に取り組むことによって、学習内容の定着を確実にし、学習をさらに進めていくことができます。プリントやテストで間違えたところや分からなかったところをもう一度ノートにやってみる習慣つけることが大切になります。 確実に復習することを習慣化する時期です。 学習に集中できる環境を整えてください。

◎ 6年生

毎日の宿題や予習を確実に取り組むことによって、学習内容の定着をより確かなものにし、意欲を持ってさらに学習を進めていくことができます。家庭学習の習慣を着実に定着させる時期です。

プリントやテストで間違えたところや分からなかったところをもう一度ノートにやってみて、自分のできなかつたところを知り、次回に生かせるようにしておくことが大切です。できるだけ、子どもの自主性を尊重してください。